

## 大腸癌手術後に発症した腸閉塞（イレウス）の検討に関する研究

### 1. 研究の対象

1994年から2013年に防衛医科大学校外科で大腸癌により手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

大腸癌術後に発症するイレウスは術後合併症のなかでも比較的頻度が高く5-10%と報告されています。しかし、術直後のみならず、長期にわたり発症する合併症であるため、これまでその実態は明らかにされておられません。そこで、大腸癌術後に発症したイレウスについて発生頻度、背景因子、リスク因子などを明らかにすることを目的に、研究を行います。イレウスの危険因子を明らかにすることでその予測などに役立つと期待できます。研究期間は平成30年12月までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、今後、研究のために患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることではなく、これまでの外来・入院治療での臨床情報（手術の内容、病理結果、手術後の経過、手術後の治療内容等）のみを用いる研究です。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校病院 外科 神藤 英二

TEL:04-2995-1511（内線 2356）

研究責任者：

防衛医科大学校外科 上野 秀樹